

令和2年度第4回太宰府市総合戦略推進委員会会議録
(まちづくりビジョン会議)

1 開会及び閉会に関する事項

- 1 日 時 令和2年12月21日(月)
午後4時30分開会
午後6時00分閉会
- 2 場 所 太宰府市役所3階 庁議室

2 委員出席者

委員 長	八 尋 茂 雄
副委員 長	八 尋 和 郎
顧 問	福 留 大 士
委 員	松 澤 尚 史
委 員	柳 瀬 隆 志
委 員	池 田 昌 太
委 員	小 川 祥 平
委 員	亀 崎 弘 記
委 員	丸 田 幸 一
委 員	青 山 博 秋
委 員	日下部 寛 行

3 執行部

市 長 部 局：楠田市長・清水副市長・山浦総務部長・五味総務部理事・東谷観
光経済部理事・佐藤経営企画課長・田上企画政策係長

4 議題

- (1) 第2期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(太宰府市まちづくりビジョン)進捗状況について
- (2) 第五次総合計画の総括における施策の検証・評価手法等について
- (3) ふるさと納税に関する取組の推進の方向性について
- (4) その他

5 概要

議題(1) 第2期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（太宰府市まちづくりビジョン） 進捗状況について

<委員意見・提案>

- ◆ICT教育を小中学生だけではなく、太宰府市民で希望する人を対象に行い、将来的にICTの先端市を目指してはどうか。
- ◆包括連携協定を結んだ民間事業者と具体的なプロジェクトを実施してはどうか。

議題(2) 第五次総合計画の総括における施策の検証・評価手法等について

<委員意見・提案>

- ◆総合計画の評価というところでは、コロナの総合計画に対する影響が大きすぎて令和2年はかなり例外的な時間だった。
- ◆計画の見直しは、まずはどういう目標設定をするかというところから現在の環境を踏まえて見直ししたほうが良い。あとはその目標に到達するための戦略や計画も環境を踏まえた見直しが大切。
- ◆太宰府市は福岡市からもちょうどいい距離にあり、歴史文化もあり、自然も結構残っている。そのような地域資源をどう生かしていくかという視点を次期計画について検討する際には入れていけたら良い。

議題(3) ふるさと納税に関する取組の推進の方向性について

<委員意見・提案>

- ◆返礼品を詰め合わせた高額の定期便を検討してはどうか。富裕層の方で太宰府市を応援したい人も何度も手続きをするのは煩わしいと思うので、一度の手続きでまとまった応援ができる定期便のほうが協力を得られやすいのでは。
- ◆太宰府で二十歳のときに十二単を着ようという企画のふるさと納税があってもいいかもしれない。
- ◆企業版ふるさと納税だと、社内的に説明しやすいプロジェクトだと寄附がしやすい。災害対応や困っている人への生活補助など使用目的が明確で社会的に意義があるものをプロジェクト型の企業版ふるさと納税として用意するといいいのでは。
- ◆もともと太宰府にお世話になった人、太宰府で育ててもらった人で現在は外に出て働いている人を最重点ターゲットにしてマーケティング活動をすることが大切。
- ◆返礼品を基にマーケティングを行い、他の自治体に対する競争優位性を実現することは重要ではあるが、制度本来の趣旨に沿った運用を行い、政策実現にこの制度を使用している状態をどこまで作れるか非常に重要。その観点から、納税者の共感を得る使途は非常に重要であり、市の独自性を出してほしい。例えば文化財の保護や古民家再生など、太宰府らしさを前面に打ち出した使い道で、他自治体の差別化を考えてほしい。また、独自性があるとメディアにも取り上げられる機会も増加するし、返礼品に興味がない富裕者層も使い道に共感して寄附をすることもあり得る。
- ◆返礼品は太宰府の認知を高めていくツールになるので、ふるさと納税をきっかけとして、ふるさと納税で完結しない、そこからスタートになるような返礼品づくり、地元の産業

づくりに生かしてほしい。

◆ふるさと納税の手続きがわかりにくく、入り口のところで迷っている方が多い印象を受ける。令和モニュメントの際には、会場にブースが出してあり、特別な高揚感とその場で寄附ができたという取り組みやすさがあった。太宰府駅や門前町にブースを出して観光客に対してふるさと納税を呼びかけるのも面白いかもしれない。

◆空き家を活用した高額返礼品も考えられるかもしれない。空き家はウィズコロナの中で密を避ける場所に多いので、そのようなところを活用していけると面白いかもしれない。

◆まだふるさと納税が始まる前だったと思うが、ある神社の駐車場で寄附の受付をしており、寄附をしたら食事と記名ができる権利をいただけるというものがあった。太宰府天満宮もあるため、太宰府でも生かせるのではないか。

議題(4) その他

<委員意見・提案>

◆市民意識調査については、どう分析するかを的確に行えば面白い結果、傾向が出るのでは。また世論調査や福岡県などもアンケートを行っているので、同じ質問をしてみて比べてどうかという視点、何と比べるかというのが一番大事。

◆市民意識調査の「市民のための行政運営」の中で厳しいコメントが多いのは、なかなか必要なサービスを受けられる窓口にたどりつけないというのがあるのではないか。市役所に来られる方を大切にするという発想の中で、1回目の案内を強化していくべき。